

学年通信「打たれよ熱き鉄人たち」第14号

令和元年(2019年)11月5日(火)発行

◎第3学年0学期に向けて

秋季総体と高文祭が終わり、今週から季節が冬へと一気に加速します。2年の3学期は3年の0学期と言われます。3年の3学期は、1月中旬に大学共通テストが実施され、本校では大半の人がこれを受験します。それが終わると自己採点の結果を受けて受験校を決定。2月に入れば私学を受験。国公立大学受験も終わらぬうちに卒業式を迎え、瞬く間に高校生活が幕を閉じます。3学期という世界は存在しません。そのかわりに0学期。したがって、この二ヶ月は2年最後の二ヶ月です。意識を変えてください。準備は早すぎることはない。部活動に一段落ついたこの時期に、自分が受験生であること、もう最終学年が始まるのだという意識をスタートさせましょう。

具体的には、次の三つを実践してください。

①少しずつやれることから始める

実際に受験勉強を始めたらいよいよ思い知ることですが、やるべきことが次から次に出て来ます。時間はいくらあっても足りない。先輩の多くが後悔すること、それが「もっと早くに始めておけばよかった」です。今覚えられることは今覚える。今マスターしておくべき基本はしっかりやり切っておく。少しずつでよいからまず始めてください。

②家庭学習時間を増やす

その昔、「四当五落」なる四字熟語がありました。睡眠時間4時間なら合格、5時間寝ると落ちる、という意味です。過酷な時代の言葉です。もちろん身体を壊してまで勉強する必要はありませんが、3年の夏、部活動を終えていよいよ受験勉強という時に、長時間集中して勉強できますか。長時間我慢して机に向かう習慣が出来ていないと、せっかくの夏休みが無駄になります。この時期から少しずつでよいから家庭学習時間を徐々に増やし、長時間集中することに身体を慣らしていきましょう。

③進学補習に参加する

英語、数学、国語の3教科で、放課後の時間を利用して進学補習が開講されます。すでに参加希望はとりましたが、国語や古典などは、追加募集もしていますので、部活動への影響のない範囲で、時間に余裕のある人は参加してください。放課後の時間を有効活用してください。

なお、数学は毎週金曜日、英語は毎週水曜日、国語は古典単語6講座と記述問題対策4講座を、毎週月曜日に実施します。

④教室での学習環境をつくる

休み時間は、諸君らの交友と憩いの時間ですが、中には次の授業の準備や、前の授業の復習、宿題などに活用する友だちもいます。その人たちの邪魔にならないよう最低限の気遣いを忘れずに。皆で協力し合って教室の学習環境をよくしましょう。

2学期末までの日程

11/5	火	⑦限:総合(探究活動) 冬期進学補習(希望者)開始
6	水	
7	木	⑦限:11/14(木)⑥限の授業
8	金	放: 県立大機械システム工学科説明会
9	土	AM: 第2回中学生一日体験入学(本校)
10	日	
11	月	朝読書(8:30登校)
12	火	⑦限:総合(探究活動)
13	水	
14	木	⑥⑦限:2年学年企画LHR
15	金	ストーブ搬入 ↓ スクールカウンセリング
16	土	PM: PTA卒業生と語る会(八日市ロイヤルH)
17	日	AFB大会会場
18	月	「滋賀教育の日」(⑥限:保護者授業参観)
19	火	⑦限:総合(探究活動)
20	水	
21	木	⑦限:LHR(学校評価等) 学びの変革(公開授業)
22	金	↓
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	⑥⑦限:総合(探究活動・発表) 考査時間割発表
27	水	
28	木	⑦限:11/26(火)⑥限の授業
29	金	スクールカウンセリング
30	土	
12/1	日	
2	月	
3	火	期末考査①
4	水	期末考査②
5	木	期末考査③
6	金	期末考査④
7	土	
8	日	
9	月	午前中授業: 考査答案返却
10	火	午前中授業: 考査答案返却 ④限:進路講演会
11	水	午前中授業、⑤⑥G-TEC
12	木	午前中授業、⑤⑥人権映画鑑賞(八日市文芸会館)
13	金	6限授業
14	土	
15	日	
16	月	6限授業 放: 模擬討論会(クラス・人権・HR運営各委員)
17	火	6限授業 ⑥限:人権LHR(クラス討論会)
18	水	6限授業
19	木	6限授業
20	金	6限授業
21	土	
22	日	
23	月	大掃除・終業式・LHR PTA会報発行

問)

～家にいるのと同じくらい長い、学校での時間～

みなさん、こんにちは。今年の4月から八日市高校にやってきた村上那由汰と申します。まずは自己紹介から。1996年に滋賀県で生まれました。守山で育ち、高校卒業後は滋賀大学教育学部に進学しました。4年間大学で過ごしたのちに、2019年春この学校にやってきました。この場を借りて、みなさんにどんな話ができるだろうと悩んでいましたが僕の受験勉強についての話をしようと思います。最近の話ですから、みなさんにも自分のこれからの姿をイメージし、参考になるのではないのでしょうか。

僕がこの仕事を目指そうと思ったのは高校生の頃でした。僕の母校は東大津高校です。そこで家にいるのと同じくらいの時間、学校で過ごすことによって、僕は自然と教職に興味が向いていたように思います。そして高校2年生の春の模試では、志望校を滋賀大学教育学部と書きました。ところで当時の僕の学力は学年で320/400位でした。後日担任に呼び出されました。「君には無理だ」といわれてしまいました。本当に悔しかったです。そんなことをいう学校は頼りにできないと感じ、そこからは個人で受験勉強に取り組みました。

家ではなかなか集中できなかったので、自習室を借りるだけの塾に通いました。英語は単語から。一日100語を頭にたたき込み、3週間で一周する。その1冊を何周もしました。数学は夏休みにFocusを解きました。理系クラスの友人に教えてもらいながら、例題だけでも全て解きました。理科基礎科目や古文は参考書、社会は資料集や一問一答でなんとかがんばっていました。はじめはなかなか結果が出なかったものの、徐々に点数が上がっていき、最終的には150/400位程になれました。しかしそれでも模試はE判定。いったい何が悪いのか。こっちは全力でがんばっているのに……。

3年生の春、学年集会が開かれました。振り返ると、僕の母校は学年集会がとても多かったように思います。集会の内容は、「みなさんは塾の授業に熱心になり、学校をおろそかにしていませんか」ということでした。また、「受験勉強をし、大学に入学してその後何をしたいのか想像できていますか」とおっしゃいました。そのときようやく、僕が教職を目指し滋賀大学教育学部を目指す理由はなんだったのか思い出しました。学校は家と同じくらいの時間を過ごす場所だったからこそ、教職に興味を持ち始めました。しかし今はその学校を蔑(ないがし)ろにして、受験のためだけの勉強をしていました。

そこから僕は学校での生活を改めました。そして先生たちが50分をどう使っているのか、どのタイミングで質問をしてくるのか、チョークは何色を使うのかといったことに注目しながら、とにかく授業に集中しました。もちろんそのために予習や復習にも最大限努力しました。実際の受験では前期は京都教育大、後期は滋賀大教育に出願しました。前期は不合格でしたが後期ではなんとか合格しました。

今回僕が皆さんに伝えておきたいことは三つです。

一つ目は**初心を忘れないこと**。何のために、何を目標に今頑張っているのかを自分の部屋の机やベッドに貼っておきましょう。

二つ目は**やり抜くこと**。苦しくても泣きたくても、自分がどれだけやってきたかどうかでしか自信は身につきません。最後は自分をどれだけ信用できるかにかかっています。かっこわるくてもダサくても、全力で走り抜けてください。

三つ目は**学校を信用すること**。この学校の先生方は素敵な人ばかりです。(言わされているわけじゃありません！〈笑〉)勉強のことだけでなく、人生の先輩としてたくさんのお話を学べるのがたくさんあります。

最後に。学校で過ごす時間は家庭で過ごす時間と同じくらい長いのです。この時間を自分自身の成長に使ってほしいと思います。

